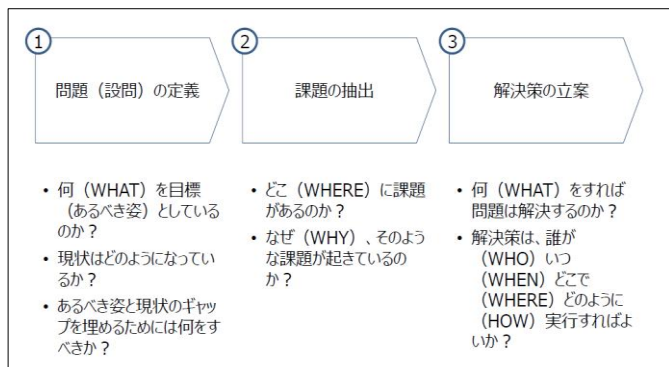


福山ティーチャーズ・アカデミー（第2回）

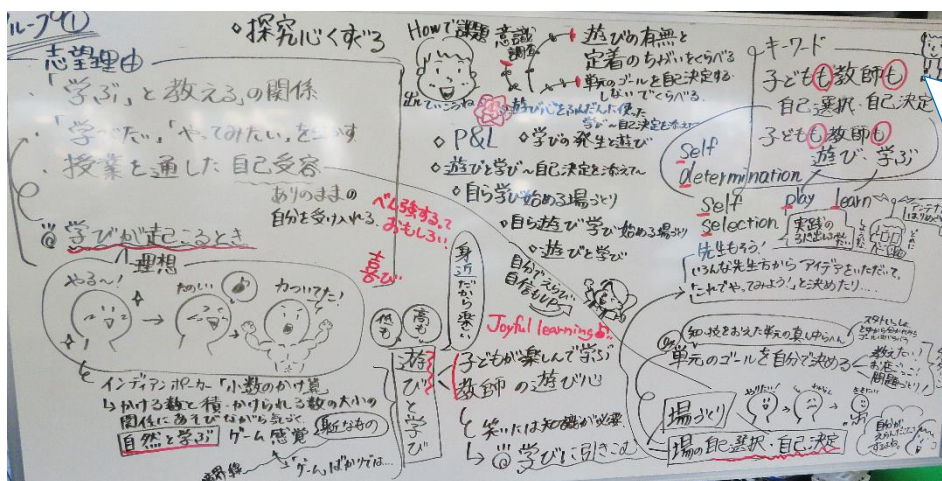
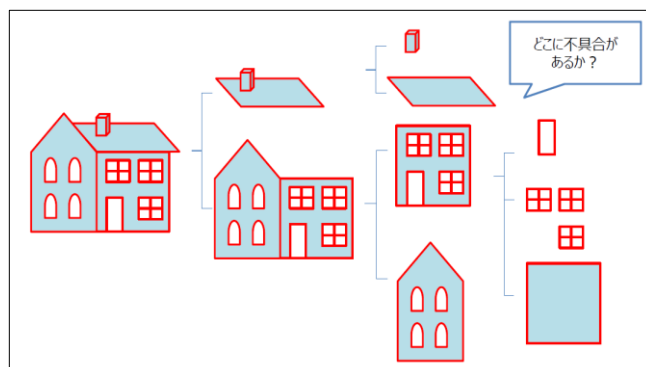
6月30日（木）に、「福山ティーチャーズ・アカデミー」の第2回を実施しました。

前半は、出島コーディネーターによる問題解決の基本的アプローチ等についての講義、後半はテーマ別に7つのグループに分かれ、テーマを選定するための協議を行いました。テーマが決まったら、学校の現状と理想のギャップから課題を抽出し、1年間を通して問いを立て解決策を考えていきます。

〈問題解決のプロセス〉



〈問題解決の基本ツール例：ロジックツリー（※）〉



後半のプロジェクト活動では、グループごとにホワイトボードに考えを出し合いながら整理していきました。テーマを具体的に掘り下げたり、問いを立てたりしています。

受講者の振り返り

- 今回、グループでこれからの研究の方向性を話し合う中で、自分自身が教員として大切にしたいことは何か、どんな課題が学校現場に存在していて、それをどうしていきたいかについて改めて気付くことができた。
- 問題に対して闇雲に考えて思いつきで動くのではなく、論理的に整理・分析することが解決の近道なのだと、わかっている気がしていたけれどできていないと痛感した。
- 教育以外の視点から、多角的に課題を捉えることで、新たなキーワードも出てきたので、自由な発想を大切に今後の研修に臨みたい。

※ 問題や解決策を、もれなくダブリなくツリー上に論理的に分解・整理する手法。問題や解決策を部分に分解することで、理解・分析がしやすくなる。